十七日刊
日

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十五
編輯兼發行人　岡田弘氏
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十五
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢一ヶ月金卅錢
廣告料一行十五字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

紺碧の秋空下に躍る
血と熱……若人の意氣
第十一回郡下青年体育大會
陸上内郷、武道平の覇業成る

（既報）第十一回石城郡聯合青年團体育大會は昨十六日午前八時から高月臺上に於いて擧行。此の日朝來秋風爽やかに吹いてトラック、フキールドの白線クッキリと浮び微風絶好のコンデーション。前年大會の覇者内郷軍連覇を期して各種目毎に猛闘すれば新鋭湯本、平、草野の各チーム死力を盡して覇者に迫り參加二十團チームの豪華絢爛堂々たる入場式直後に行はれた百米第一豫選から熱火の快戰が開始されたが内郷軍依然覇者の貫録を示して壓倒的得点を重ね。第二位湯本を十二点引離し合計三十八点で二年連覇の偉業を成就大優勝旗を獲得すれば磐中武道場に於いて開始された武道戰は此れまた前年の覇者平軍優勝した。當日の戰績は

▲百米決勝
一着柏原武三（平）タイム十一秒九、二着渡邊彌平（植田）三着瀧口今朝吉（内郷）

▲四百米決勝
一着猪狩五郎（草野）タイム五十四秒三（大會新記録）二着寒河江武雄（内郷）三着淺川一男（湯本）

▲千五百米決勝
一着小板橋新一（内郷）タイム三十五秒五、二着佐藤福藏（湯本）三着加藤一（川部）

▲一萬米決勝
一着馬上武雄（湯本）タイム三十九分二十四秒二、二着菊地正雄（平）三着佐久間章（内郷）

▲走巾跳決勝
一等丹野富士男（内郷）六米三六、二等渡邊彌平（植田）三等金成龜太郎（平）

▲走高跳決勝
一等鈴木武雄（内郷）一米七五二等花澤保雄（平）三等富澤敏雄（湯本）

▲砲丸投決勝
一等江幡弘司（湯本）一〇米五二等高橋勇吉（内郷）三等山野義宗（上遠野）

▲俵擔決勝
一等片寄弘仲（平）三三秒、二等吉田武司（内郷）三等遠藤友治（飯野）

▲千米瑞典リレー決勝
一着内郷チーム二分十三秒三（大會新記録）鈴木武雄、瀧口今朝吉、加藤鐵兒、寒河井武雄、二着湯本、三着大浦 以上總計三十八点内郷チーム優勝二位二十六点湯本、三位二十一点平、四位九點草野、五位八点植田

▲武道 劍道
一等平小野彌、二等湯本小野五郎、三等渡邊澤田正孝、四等飯野北郷正二郎、五等大野荻榮

▲柔道
一等神谷阿部文平、二等上遠野荒川久、三等平白井晃、四等平椎根保美、五等湯本武藤象一

▲相撲
一等内郷山野邊政美、二等同鈴木幸七、三等好間下坂東亀郎、四等大野鯨岡力造、五等飯野村木村敏雄

以上平、二等内郷、三等湯本、神谷、四等上遠野、五等好間、飯野

磐陽野球
組合決定

磐陽球界今シーズン掉尾の豪華戰磐陽野球大會は二十三日、三十日の兩日平町磐中球場に於いて擧行と決定したが、抽籤の結果組合せ次の如く決定した。

第一回戰
高月——古河
全平——入山
揚土——全湯本
不戰一勝　磐炭

親娘共謀しての
前借詐欺常習が
美貌の少女を餌に……

内郷村大字宮字金坂磐城炭礦坑夫佐藤今朝藏二女ヨシ（一八）假名は去月十五日前借四百圓で熊谷市お可盛樓の酌婦に住み込んだが僅二週間目の去月廿九日午後四時頃入浴に出たまゝ逃走行方を晦ましたので八方捜査の結果郷里内郷村に逃戻つてゐる形跡があるので今十七日平署に取押え方を願出たが、親娘共謀の前借詐欺ではないかと睨み平署で捜査を進めてゐる。

▲平町勞務委員會
平町では十九日午後一時から學務委員會を召集勞務關係諸案を協議する。

熱心湯心中事件の
女は絶命男は助かる

十五日夕刻平町立町熱心湯で毒藥心中を企てた不義の人妻平町大町橋本忠一内妻員田ナツ（四〇）は手當の効なく十六日朝遂に絶命した、尚片割の男は依然重態であるが生命は取り止めるらしいと。

水田二三毛作成功
水稲、麥、胡瓜の栽培
農試分場の革期的試作
一般農家にも奬勵

神谷村農試分場が水田を利用した三毛作水稲、麥、胡瓜の栽培は麥、胡瓜が豫想外の收穫を見又水稲も平年作同樣の收穫を豫想されてゐるので先づ三毛作は大成功とばかり明年からは一般農家に大々的奬勵を試みる事となつた。

分場の試驗水田は僅に二畝歩でこれに對しまづ麥を蒔き麥のウネとウネとの間に半促成の胡瓜を栽培し何れも六月二十日前後で收穫をおへ、それより水稲を植付たものだが、麥と胡瓜の純益は九圓十五錢に及びこれを反當りに見ると四十五圓七十錢の益金が懷中へ入る譯で農家の經濟は相當更生されるものである。

▲青沼町長郡山へ
青沼平町長は郡山市に於いて開會された縣下方面委員會總會に出席の爲め今十七日午前五時四十二分發列車で郡山行、午後六時平着列車で即日歸町の筈。

地主小作人
聯合懇談會

平町居住の耕作地所有者、自作農、小作人聯合懇談會は二十二日午後一時から町會議室に於いて開催、農業倉庫の利用その他に關して協議する。

秋の帽子
◎明朗……保そして秋氣滿喫の青年帽・紳士帽！
中折。ハンヂング……斷然。逸品です。中野の流　型！
ぜひ御高覽。御批評下さいませ……。
平二三　電五三
正　中野洋品店

入山軍慘敗
平署大谷刑事
七人を殪す

平警察署對湯本町入山炭礦の劍道戰は十六日午後一時から湯本町入山武道場で擧行。個人戰は村大字藤原農松崎正晴（四一）を八對二、紅白戰は平署大谷二段轢倒し正晴は前額部その他に全治二週間の打撲傷を負つた、加阿修羅の如く入山軍の大將以下七人を殪して不戰七人を殘し大勝した。

自動車に
農夫轢かる
才槌小路で

平町驛前野崎自動車部運轉手松崎勝夫（二四）は十五日午後八時頃貸切自動車を運轉し町才槌小路馬目酒店前街路を疾走中突如運轉を誤り前方を歩行中の磐崎町入山武道場で擧行。個人戰は村大字藤原農松崎正晴（四一）を八對二、紅白戰は平署大谷二段轢倒し正晴は前額部その他に全治二週間の打撲傷を負つた、加阿修羅の如く入山軍の大將以下七人を殪して不戰七人を殘し大勝した。

雀麻大會
比佐君優勝

いはき新聞社主催第二回三縣下麻雀大會は昨十六日平町旗亭三益で開催、三回戰合計七千余点を獲得して平町比佐三郎君が優勝した。

夏井川改修
潰地買收
急促進捗か

夏井川改修工事は既報の如く潰地買收の未決の儘この程鎌田橋下流西側の積堤準備工事に着手したので平町の關係地主は過般來改修事務所に買收方を折衝中であつたが既決の飯野村では買收價格に對し一割乃至二割の補助金を交附してゐるので平町に潰地を有する同村民は自村同樣幾分の補助金を此程賣却委員員に交渉したので委員草野七五三之助氏は十四日岡田區長と共に役場に陳情し町長歸平を待ち解答する事になつたので買收價格の決定と共に過般來或種の感情問題から進行を阻まれてゐる潰地買收交渉も案外急速に進展するのではないかと觀られてゐる。

電話六四〇番
皆様のタクシーへ
此度は夏にふさはしいすがゝしい色彩の……
ニーワクシン裝置
新車が入車致しました
自動車の御用命は電話六四〇番を
御呼び下さる皆様を新車と共に從業員一同
御待ち申して居ります。
車も揃ひましたから遠乘の御用には
特に御相談に應じます。
平町二丁目　尼子タクシー
電話六四〇番

新特約　三菱ノ自轉車
マーリ號特徴
第一、堅牢輕快
第二、價格底廉
第三、盗難豫防
第四、保險用
第五、運搬車代用
第六、婦人兼用
第七、附屬品全部マークス
代理店
エビスヤ自轉車店
電話六六四番

電話開通披露
此程皆様の御便利をはかる爲
電話三十二番を開設致しました
多少にかゝわらず御用命下さい。
九月十七日
四倉町字新町
よねや食堂
電話三十二番

平南町
川井科内診療所
電二四三番

店主が店員を連れて行かれる
正シキ食堂
正シキ喫茶
正シキ酒場
平・田町
レストランサロン
電三五二

耳鼻咽喉専門病院

かまぼこ製造
竹詰商
平町一丁目(電話一四一番)
お惣菜用
さつま揚
吉原揚
天ぷら

セメント瓦製造機械製作販賣
日本型
洋型
最新型各種
(御一報次第型錄呈上)
福島縣四倉驛前
萬年瓦工業株式會社
電話三八番

吉田眼科病院
平町紺屋町(電話六八番)

開業御披露
貸切の御用命は
電話七十九番へ
新車を購入致しました
迅速親切――御客様本位
平町三丁目平警察署通り
平タクシー
電話七九番
◎長距離は特に御相談に應じます

質物一般
營業時間　午後九時迄
三井質店
平町四丁目川岸通り
電話六〇六番

耳鼻咽喉科專門
病室完備
自炊ノ便アリ
平町田町(電六九一)
山内醫院
醫學士　山内亨吉

吸入用酸素!!
純度99%

度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
計量器
体温器
寒暖計

◎秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス
◎寫眞機
材料一式
開内絲局
電話四〇番

新發明
透明障子紙
福島、茨城
宮城、栃木
四縣下一手販賣
平町四丁目
伊勢屋
發賣元
阿部商店
電話四五番